

颯奏-SOUSOU-



Vol. 11 2016年7月

梅雨が明けると夏本番！暑さに負けない身体を作り、年齢にも負けずにやる気とパワーを熱くもちましょう！汗をかいたら水分補給を忘れずに！

おめでとう！
目標達成

「チュニックエプロンを自分で一から作りたい」という目標を、この度達成されたHさん。どうやって手芸店まで布を買いに行くか…近所のミシン工房に自分の使えるミシンはあるか…右片麻痺の体でミシン工房の段差を超えちゃんと入れるか…段階をしっかりと決め福元相談員も下見に同行しました。



颯恒例！くす玉でお祝い♡

目標達成までの流れを、文章にしてくださったHさん。

ただ闇雲に運動やリハビリをしても、目標をなくしてしまったらそれは出口のないトンネルです。

出来ないことに固執してしまわず、今の自分ができることを見つけて、それを最大限に活用できるように助けをかりながらでも取り組んでいくことが大切なのではないでしょうか。

麻痺があっても工夫をしながら料理をしたり、家事を毎日こなされるHさん。

今回の目標達成は、ただ「チュニックを作れた」ということでなく、Hさんが障害を負ってからも懸命に前に進んできたという、かけがえのない軌跡が形になったように思い、職員にとっても大切な経験となりました。



7月のお休みは18日(月)と土・日曜日です。

認知症や障害を「個性」として受け入れる。

家族だけでなく「地域」全体で見守り、支える。

皆さんの家族、友人、ご近所さんに「認知症」の方はいらっしゃいませんか？以下、ご利用者様からの寄稿です。

* ..: * ..: F・K さん(79) 要支援 2 * ..:.



主人の妹の旦那さんの話です。

数年前から少し認知症があり、近所のデイサービスに通っておられます。

話をしても同じことを何度も言ったりしますが、普通に会話はされます。

旦那さんが自宅でいつも座っている電気イスの横に電話が置いてあります。

電話が鳴るたびにすぐに旦那さんが電話に出られるそうですが、妹が「誰から？」と聞きますと毎回「分かん」と言って、妹は困ると言っております。

私は自宅で小さな雑貨屋(万屋)をしておりましたが主人が亡くなり10年前に店を辞め、その場所に手作りのテーブルを置いて週に一度近所の人たちとお茶の一時を過ごしております。(ボケ防止の意味もあります)

そのお茶会をしていると、喫茶店と思ひ通りがかりの人が訪ねてくることもあります。全くの知らない人でもどうぞどうぞ、と招いたりもしますが、ただひとつ【悪口は絶対に言わない】というルールを設けています。

その際、妹の家にもお誘いの電話をするのですが、例の如く旦那さんが出られます。

私が電話しても「分かん」と言われてしまうので、どうしたものか思っていました、少しの遊び心で「私かぐや姫ですが、乙姫さんはおられますか？」と言いました。そうすると旦那さんは「ワッハッハ！」と大笑いされました。受話器の後ろの方から「誰から？」と妹の声が聞こえ、旦那さんは「姉さんからや」と言いました。私はこれだ！と思い、それからいつもこの手でお誘いの電話をするようにしています。

どうして私だと気付いたのか本当の所はわかりません。ですが旦那さんはちゃんと私と理解してくれたのです。

その日によって電話主は千差万別です。乙姫、かぐや姫、千姫、楊貴妃、エリザベステーラ、クレオパトラ…名前が変わっても毎回旦那さんは電話口で大笑いしながら妹に私からの電話だと伝えてくれます。

そんな旦那さんも昔はガソリンスタンドを何か所も経営され岡山に喫茶店も出されバリバリと仕事をされていました。認知症といっても、今までたくさんの経験を重ね人生を歩んできていらっしゃるのです。

そして私たちもいずれ行く道です。そんな時少しでも私がお役に立てればと思い毎日を過ごしております。

